

外国籍児童ら

日本語上達へ

徳島市で教室開始

徳島県内の小中学校に通う外国籍の児童、生徒を対象にした「夏休み子

ども日本語教室」が二十

一日、徳島市内の県国際

交流プラザで始まった。

夏休みを利用して日本語

の上達を支援し、子供た

ちに交流の場を提供する

のが狙い。八月九日まで

計八回開かれる。

教室は、外国人への日

本語指導支援に取り組む

「JTMとくしま日本語

ネットワーク」(兼松文

子会長)と県国際交流協

会が、県からの委託で実

施。中国やイラン、フィ

リピン国籍などの十四人

が参加した。

子供たちは二人一組で

じゃんけんし、負けた方

が相手の自己紹介カード

を読み上げるなどのゲー

ムを楽しんだほか、スタ

ッフ十人のアドバイスを

受けながら夏休みの宿題

に取り組んだ。

中国籍で北島南小四年

の郝雅雲さん(五)は「日

本語を、もっと勉強した

い。いろんな国籍の友達

と知り合えてとても楽し

い」と話していた。